

佐竹南家 御日記 第十三卷

自 宝暦十三年 至 安永四年

「佐竹南家御日記」は、湯沢の所預であった佐竹南家の御用座において天和二年（一六八二）から慶応四年（一八六八）まで書き継がれた公用日記です。地方武士の暮らしや農業、商業、交通、宗教、気象などが詳細に記され、当時の社会事情を知る貴重な近世史料です。

本書は、宝暦十三年（一七六三）から安永四年（一七七五）までの十三年分を収録しました。

○ 昨日午後七時頃、田町で四十六件が焼失する火災があり、若殿様も火事場に出られる。

（宝暦十三年三月）

○ 例年のとおり、神明社に於いて虫祭り（※1）を行いたいという申し出があった。

（宝暦十三年六月）

○ 例年のとおり、稲取仕舞いの前に稲穂拾いや、どじょう捕りをしないよう命じられた。

（宝暦十三年十月）

○ 十五人の組下が困窮を申し出たところ、米十五俵と一斗五升四合の拝借が認められた。

（明和三年七月）

○ 今年豊作であったので、来月朔日の作祭りに相撲興行をしたいという申し出があった。

（明和三年七月）



○ 浄土寺に於いて、曼荼羅（※2）を寄進されたので供養を行いたいという申し出があった。

（明和五年五月）

○ 山田村の最禅寺の僧が能州永平寺の輪番を無事勤め終え、本日湯沢へ到着したので、殿様にお目見えした。

（明和七年九月）

○ 近年、鳥追行事（※3）の際に夜更けまで若者たちが騒がしくし、町内の門戸や窓を壊したりつぶてを投げたりしているのので、そのようなことがないよう言い渡された。

（安永元年正月）

○ 近ごろ博奕、出火、賊難などの色々な風評があるので、目安箱を置き、各町を廻るよう、御代と大和の二人に仰せ渡された。

（安永四年四月）

※1 害虫退散を祈った

※2 湯沢市指定文化財

※3 小正月に行われる年中行事

待望の第13巻発刊

頒布価格改定のお知らせ

（平成30年4月1日以降）

第1巻～第12巻

改定前 8,000円（税込）



改定後 5,000円（税込）

・ A5判・上製・布クロス装・函入
・ 本文 856 ページ ・ 出版 250 部 ・ 頒布価格 5,000 円（税込）

・ 発行 湯沢市教育委員会
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号
TEL 0183-55-8193・FAX 0183-72-8515
Mail k-bunkazai@city.yuzawa.lg.jp